

[報 告]

第 17 回高性能シミュレーションに関するワークショップ(WSSP)報告

東北大学サイバーサイエンスセンター 小林広明

東北大学サイバーサイエンスセンターとドイツのシュトゥットガルト大学高性能計算センター(HLRS)は、2013年3月12日(火)～3月13日(水)に第17回 Workshop on Sustained Simulation Performance (WSSP)を開催しました。本ワークショップは、サイバーサイエンスセンターとHLRSとの間の高性能計算に関する組織的連携協定に基づき両センターのスーパーコンピュータシステムの利用者、並びに国際的に活躍する計算科学者・計算機科学者を招いて、毎年、春と秋にシュトゥットガルト大学と東北大学で交互に開催しているものです。

今回のワークショップは、文部科学省の2年間の事業として東北大学が取り組む「高メモリバンド幅アプリケーションに適した将来のHPCIシステムに関する調査研究」の成果報告会として位置付け、特にスーパーコンピュータを用いた防災・減災、地球環境、最先端ものづくりなどを対象に、将来解決が希求される社会的・科学的課題の明確化に向けたアプリケーション、および必要なHPCシステムのあり方を中心にプログラムを編成しました。また、東北大チームに加え、将来のHPCIシステムの検討に関して東京大学チームと筑波大学のチーム、アプリケーションに関しては理化学研究所のチームも本文科省事業に取り組んでいることから、これら3チームもお招きし、その活動状況に関するご講演もいただきました。

ワークショップの冒頭、文科省研究振興局情報課林計算科学技術推進室長から我が国のHPCI政策に関するご講演があり、また海外有識者からはポストペタ・エクサスケールコンピューティングに向けての、アプリケーション、システム、デバイスそれぞれのレベルでの研究開発のあり方や今後の技術動向が示されました。

2日間のワークショップでは、延べ約160名の参加者を得て、活発な議論が交わされました。第18回ワークショップは、2013年12月9～10日にシュトゥットガルト大学で行われる予定です。また、2013年度に開催されたワークショップの論文集が後日Springer社から出版されます。講演予稿集および論文集にご興味ございましたら残部がございますので、センターまでお問い合わせください。

